

生物、自然そして環境。疑問が解決！  
100万人の Q&A サイト

# ぼくらはガリレオ

»

## “火星”モジュール、Mars500完了



Social News

チェック



友人に教える

National Geographic News

November 7, 2011

模擬火星旅行実験「Mars500」の実験モジュール。モスクワのロシア科学アカデミー生物医学問題研究所（IMBP）に設置され、宇宙船内と着陸地の再現に利用された。

Mars500は、IMBPと欧州宇宙機関（ESA）の共同プロジェクトで、火星探査ミッションのシミュレーションが目的だ。個室が用意され、キッチンの椅子とテーブルで食事ができるが、実際はこのような余裕は無いだろう。

NASAの同様のプロジェクトでは約100日間の滞在に留まっており、520日間の隔離実験は過去最長だ。

アメリカ、アリゾナ砂漠で惑星探査をシミュレーションした「Desert RATS」プロジェクトの主任エンジニア、ジョー・コスモ氏は、「この長期実験は少し強引だったかもしれない」と言う。アメリカ版では機器のテストが目的で、クルーの心理状態まで調査しなかった。「深宇宙へ往還する目処を付けてからでも遅くない。隔離実験でレジリエンス（ストレスからの回復力）を見るのはその後で良い」。

Photograph courtesy Stephane Corvaja, ESA